

# 商品開発とパッケージデザイン

2年 組 番 氏名

目標：現代の問題点や動向、予測される未来に対応した「商品」を開発し、その模型をつくり、その「商品」を入れるパッケージもデザイン、制作する。

条件：①パッケージは画用紙で作成、自分で箱や厚紙など用意しても可。

②着色用に水彩絵の具、アクリル絵の具、パステル、色鉛筆などは学校で用意。その他のものは自分で用意する。

③「商品」は学校で用意した軽量樹脂粘土で作成。基本は実物大で、無理な場合は縮尺明記。

④現代の問題点や動向を把握したもの、予測される未来に使えるもの、を考えオリジナルデザインをする。

⑤12回12時間の予定、最後にプレゼンテーションまたは展示。

\*商品内容の例・・・他にも自分で考察してみよう。

食品：生活習慣病予防、食育、自給自足、無添加、宇宙食、地産地消

医療：治療用具、忘れず薬を飲む道具

環境：省エネ、リサイクル、リユーズ

災害：復興支援、災害用品

少子高齢化社会、バリアフリー、コミュニティ、教育、

高校生の視点で、これあったらいいな商品。

## 評価の観点

- ・現代の問題点等についての把握
- ・発想
- ・アイデアスケッチ、設計図
- ・商品の使いやすさ、色・形・質感のつくり。
- ・パッケージのわかりやすさ、適格な字体
- ・進行表の記入、授業態度（遅刻、後片づけ、意欲、提出期限）
- ・商品名
- ・発表の様子

# 2 学年美術後期・商品開発進行表

2 年 組 番 氏名

月日	きょうの到達目標	集中度	きょうの到達度、感想、質問、次回の目標	検
	最終日プレゼンテーション			

- ① 商品内容
- ② ネーミング
- ③ この商品を通じて訴えたいこと

## アイデアスケッチのための考察

キーワード	
問題点や予測	
使用する対象	
商品の材料	

## アイデアスケッチ